

＜令和5年度の主な事業について＞

1. ペットボトル水平リサイクル可能性調査【新規】

ペットボトルの水平リサイクルは、ボトル to ボトルともいわれ、高度な技術により使用済ペットボトルから新たなペットボトルを製造する手法。新たな石油資源の使用削減や Co2 の排出削減等、カーボンニュートラルの実現に繋がることが期待される。ペットボトルの一部を水平リサイクル事業者へ引き渡すことにより、不適物を含めた処理状況の確認と、本市での作業効率や、処理費用の低減が図れるかなど、現行のリサイクル手法との比較検討を行う。また、導入にあたっては、現行のリサイクル手法との比較に加え、事業者のもつ幅広い経験・知見を活用した未来を担う子どもたちへの環境学習や市民意識の向上へ繋げる取組も効果として期待するもので、令和6年度以降の導入の可能性を検証する。

○実施期間 令和5年5月8日～令和5年10月31日まで

○調査スケジュール

- ・ 令和5年7月 ペットボトルべール品引渡業者決定
- ・ 令和5年8月 ペットボトルべール品引渡
- ・ 令和5年10月 令和6年度以降の導入の可能性を検証

○調査項目

- ・ 引渡後の再商品化及び適正処理の実態把握
- ・ 不適物処理量及び焼却施設の助燃剤費用の比較
- ・ 中間処理コストの検証
- ・ ペットボトル買取価格の比較
- ・ その他課題及び問題点の抽出

2. 資源ごみ拠点回収施設で家庭用シュレッダー紙の回収を開始【新規】

燃やせるごみの減量化とリサイクル推進のため、家庭から排出されるシュレッダー紙の再資源化を目的として、令和4年9月から令和5年3月末まで市内2ヶ所（黒石、新町）の資源ごみ拠点回収施設で回収の実証実験を実施。今後、家庭用シュレッダーの普及が予想されることから、令和5年4月から本格実施。回収量は、令和5年4月：350 kg、5月：690 kg、6月：490 kg の3か月で1,530 kg。

＜今後の取組＞

- ・ 新たな取組であることから、講習会等を活用し、本取組の周知徹底を図る。

